

# 2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

## 事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【 茨城県 】

学校名【 行方市立麻生中学校 】

1 実践テーマ	V
2 実施対象者 (学年・人数)	行方市立麻生中学校 生徒 294名 保護者 254名 教職員 25名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 ( ) ② 行事名 (体験活動 文化祭 講演会) ③ その他 ( ) (2) 地域における活動 ① イベント名 ( ) ② その他 ( )
4 目標 (ねらい)	(1) 生涯にわたってスポーツに親しみ、健康で豊かな生活を送ろうとする心の醸成を図る。 (2) 競技人口の少ない競技（障害者スポーツ・ニュースポーツ）への認知及び理解促進を図る。 (3) オリンピック・パラリンピックへの機運醸成を図る。
5 取組内容	(1) 障害者スポーツ並びにニュースポーツの紹介並びに体験 (2) 文化祭における、障害者スポーツ体験コーナー並びに関連書籍展示 (3) オリンピアンを招聘した教育講演会の実施 (4) オリンピック・パラリンピックコーナーの設置 (図書・資料の展示)
6 主な成果	(1) 障害者スポーツ並びにニュースポーツの紹介並びに体験 競技人口の少ない競技への認知及び理解促進のために、行方市で実施されている障害者スポーツ並びにニュースポーツの紹介並びに体験を行った。NPO 法人行方ふれあいスポーツ並びに行方市教育委員会生涯学習課スポーツ推進室より講師をお迎えし、障害者スポーツ並びにニュースポーツの紹介（インディアカ ボッチャ フライングディスク）、体験、ゲームを2学年対象として実施した。生徒は、楽しく体験活動を行いながら、障害者スポーツ、ニュースポーツへの理解を深めることができた。



## (2) 文化祭における、障害者スポーツ体験コーナー並びに関連書籍展示



文化祭において「ボッチャ体験コーナー・関連書籍展示コーナー」を設置した。地域の児童が体験に参加し、楽しく活動する姿をみることができた。保護者、地域の方々にもボッチャについて知ってもらうことができた。

## (3) オリンピアン・パラリンピアンを招聘した教育講演会の実施

「生涯にわたってスポーツに親しみ、健康で豊かな生活を送ろうとする心の醸成を図る。」ことを目的として2012年ロンドンオリンピック水泳 200m平泳ぎ銅メダリスト立石諒氏をお迎えし、全学年、保護者を対象に講演会を実施した。演題「挫折からのクイックターン～夢を叶える力」の講演を聴くことをとおして、生徒は、挑戦することの大切さ、支えてくれる他者への感謝、努力を続けることの大切さについて深く学ぶことができた。



## (4) オリンピック・パラリンピックコーナーの設置

オリンピック・パラリンピックコーナーは図書室前に設置したため、全生徒が目にすることができ、資料を読んだり図書を借りて読んだりしてオリンピック・パラリンピックに対する興味・関心を高めることができた。

	
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•行方市で実施されている障害者スポーツ並びにニュースポーツの紹介並びに体験をとおして、競技人口の少ない競技への認知及び理解促進を図ることができた。</li> <li>•オリンピックを招聘した教育講演会の実施をとおして、生涯にわたってスポーツに親しみ、健康で豊かな生活を送ろうとする心の醸成を図ることができた。</li> </ul>
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•障害者スポーツ並びにニュースポーツの紹介並びに体験については、講師人数の関係上2学年限定となった。今後は、生徒から生徒へ教えるという形態で実施し、他学年へ広げつなげていきたい。</li> <li>•ボッチャ体験コーナー・関連書籍展示コーナーの設置については、事前のPRを積極的に行うことで、更に興味関心を引き出すことができたのではないかと感じる。</li> <li>•オリンピックを招聘した教育講演会の実施については、事前に道徳において関連する価値を取り上げておくことで、教育効果も高められたと感じる。</li> </ul>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•令和2年度は、ボッチャ体験を全学年に広げることで障害者スポーツへの理解啓発を図っていく。</li> </ul>